



飛翔祭 みんなが 主役 進化

飛翔祭（体育祭）盛大に開催

9月8日(金) 内野中学校グラウンドにて、飛翔祭が開催されました。コロナ禍が落ち着き、3年ぶりにご家族の方を招いての開催になりました。今年度は久しぶりに4連合になり、個性豊かな連合長達に率いられた赤・緑・青・黄の各連合が、競技・応援でのしを削りました。また、生徒達は、実行委員を中心に、用具の準備や放送の実況などの運営にも積極的で、まさに生徒が創り運営する飛翔祭になりました。

連合長に聞く

今年は、「みんなが主役の飛翔祭」を目指して、リーダーは夏休み前から準備を進めてきました。連合長がその過程を振り返って、苦労や喜びを語りました。

司会「連合長のみなさん、よろしくお願いします。早速質問します。今年目指した『みんなが主役の飛翔祭』は実現できましたか？」

生徒「できたと思います。笑顔がたくさん見られたことからそう感じました。」

生徒「そういえば、競技中の応援も学年を超えて積極的だったと思います。」

司会「今年は新たに応援合戦でストーリーを創って演じることになりました。これには驚いたのではではないですか？」

生徒「難易度が上がりました。テーマ選びが大変でした。でも、見栄えはよくなったと思います。」

生徒「ストーリーを考えるのがとても大変でした。」

司会「実際にやってみて、いかがでしたか？」

生徒「やっている私たちが、何をやっているのかわかるようになったのはよかったと思います。」

生徒「私たちの連合は、去年までの内野中のスタイルを残せるようにストーリーを工夫しました。」

司会「次に、今年は日々の活動の後にリーダー会議を行っていましたね。これについてはいかがでしたか？」

生徒「これはよかったです。他の連合でうまくいったことを聞いて参考にすることができました。」

生徒「私たちの連合は、うまくいっていないところをアドバイスをもらって改善することができました。さらに、会議中によりよくしたいと思うこともありました。」

司会「最後に、みなさんは今、達成感でいっぱいだと思います。あなた方が『自分は成長したなあ』と感じることを聞かせてください。」

生徒「はい。僕はみんなで力を合わせて何かを創る楽しさを知ることができました。」

生徒「私は、結果よりも大切なものがあることに気がきました。応援の練習をすることが本当に楽しかった。」

生徒「人をまとめることの大切さを知りました。僕自身も楽しめました。」

生徒「人をまとめていくことの大切さや大変さがわかりました。」

司会「みなさん、いい経験をしましたね。新しいことに挑戦したことに加え、暑さのために種目の変更や練習日程の変更があって大変だったと思います。それを乗り越えたみなさんはとても輝いていますよ。今日はありがとうございました。」

パネルで応援のストーリーを表現 ユニークなデザイン揃う



赤連合「歌舞伎」 グランプリ
リーダー

細部まで丁寧に塗りました。特に線に強弱をつけたことで絵に迫力が出たと思います。



緑連合「カメレオン」クリエイティブ賞
リーダー 3年

カメレオンの静かな強さや恐ろしさを表現しました。特に鱗や陰影を工夫して塗りました。



青連合「アオハル」ウッチュウ賞
リーダー 3年

人物を描くのが難しかった。色を工夫することで青空と人物のコントラストがうまくいきました。



黄連合「狼」 デザイン賞
リーダー 3年

狼の毛並みや、瞳の色を細かく分けて、リアルな狼に寄せられるように色を塗りました。

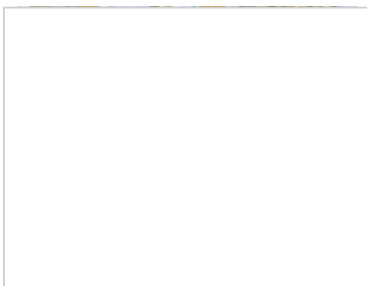
白熱した競技 運営頑張る



初めての飛翔祭で

1 学年委員競技担当

私は学年種目を企画しました。学年で練習したところ、思い通りにいかないことが多くありました。本番が不安でしたが、改善して安全で楽しく行うことができよかったです。



クラスの絆

2 学年委員長

2 学年種目はルールが難しく、学年委員会でも理解しづらいこともありましたが、みんなは真剣に聞いて理解してくれました。当日は、団結することでクラスの絆が深まったと思います。



最高の3 学年種目

3 学年委員長

「W2人3脚」の練習では、はちまきが切れたり、転んだりでうまくいきませんでした。しかし、本番では、各連合とも団結して息を合わせて走りきることができました。大成功で終われてよかったです。



飛翔祭で感じた先輩のすごさ

飛翔祭活動で感じた先輩への憧れ 1 年

私は、飛翔祭活動を通じて、先輩方の素敵な姿をたくさん見ることができました。手際よく行動する姿、周りをよく見て行動する姿がとてもかっこよかったです。今年、私は手際よく行動することができなかったので、来年は先輩方のようになりたいです。

憧れの先輩たち 1 年

私が飛翔祭で感じたのは、先輩たちの「飛翔祭を盛り上げようとする思い」です。積極的に声を掛けて連合をまとめたり、放課後に残って制作したりする姿が印象的でした。今後の行事では、先輩たちを見習って、私も積極的に行動していきたいと思います。

実行委員長から

飛翔祭を振り返って 実行委員長 3 年

今年の飛翔祭は今までは違う、「変わる飛翔祭」でした。みんなが主役となるような応援を目指して、リーダーがフォロワーを引き立たせ、みんなが楽しめる応援を創りました。天候に恵まれず、練習日程の変更や2 日間にわたる飛翔祭の開催になりました。ですが、全員が頑張ろうと心をひとつにし、素晴らしい行事になりました。全校生徒一人一人が心から楽しんでいました。

平日にも関わらず、私たちを応援してくださったPTAの皆様、主役であった生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

今年の成果を引き継ぐ

学年の壁を越えて 2 年

来年は、学年の壁を越えた競技を取り入れたいです。今年も学年に関係なく関わり、先輩や後輩と会話することができました。ですが、飛翔祭は1 日で終わるので、短い時間の中でみんなと協力し、同じ連合の仲をより深められる飛翔祭にしたいです。

全員が楽しめる飛翔祭 2 年

私は来年、全員が楽しめる飛翔祭にしたいです。運動が好きな人はもちろん、運動が苦手な人も楽しめる新しい競技などを追加したいです。そのためにはアンケートをとったり、友達に何をしたいか聞いたりして、いろんな意見を取り入れたいです。

変える勇気 飛翔祭担当職員

「今までのものを変える」、これは、相当な労力があることです。なので、今まで通りの方がラク、去年はこうやっていたからと、人はつい保守的になってしまいます。ですが、今年は主体をリーダーではなくフォロワーに置き、大きく方向性を変えました。もちろん、変えることによる意見は出ましたが、準備が進むにつれて、この生徒たちならできると確信に変わりました。

今年が「変わる」第一歩です。みんなが楽しめる飛翔祭にする。応援ではみんなに役割をもたせるためにストーリーを考えました。今までにない飛翔祭です。新たな歴史をつくる大きな一歩を踏み出してくれた生徒たちに敬意を表します。